



鹿児島県立鹿児島中央高等学校

進路指導室だより

発行：進路指導部企画運営係

センター試験303名受験

1月21日(土)、22日(日)の2日間実施された大学入試センター試験(センター試験)を、本校3年生303名が受験した。今冬一番といわれる寒波の中ではあったが、大きなトラブルもなく、全員が無事試験を終えた。また、センター試験翌日の月曜日は自己採点を行い、生徒1人1人が進路志望に合わせて個別学力試験までの学習計画を立てた。センター試験は2日間で終了と思いがちであるが、自己採点をもとに出願先を決定するので、センター試験翌日の自己採点は非常に重要である。1・2年生はセンター試験は自己採点も含めた3日間と覚えておこう。

三者面談に備え、1月20日(金)に第3回進路検討会が行われた。検討会では自己採点と各予備校の判定、さらに生徒の日頃の学習への取り組みや、今後の伸びに対する教科担任の見解をもとに、出願先と合格の可能性について話し合った。議論は白熱し、3年生全員の検討が終わったのは午後9時過ぎだった。

この進路指導室だよりが出る頃は、三者面談を経て、多くの3年生が出願を終えていることだろう。3年生は進路実現に向けて邁進しよう。2年生はいよいよ1年後である。受験がすでに始まっていることを自覚しよう。

国公立大学2次対策始まる。

「私の受験生としての期間は、辛く、もう二度と経験したくない期間でした。しかし思えば、高校生活3年間の中で一番有意義な充実した日々だったように感じます。」これはある国立大学に合格した女子生徒の、合格体験記からの抜粋である。いま、彼女と同じような気持ちで勉強している3年生もいることだろう。

センター試験とは異なり、国公立大学個別学力試験(2次試験)では、それぞれの教科をどれだけ理解していますかということが問われる。単純に問題の解き方を知っているだけでは対応できないので、3年生は受験に必要な科目を総復習し、それぞれの教科や科目への理解を深めることが必要である。理解が深まることでどうなるか。合格体験記を書いた彼女は次のように述べている。「私が理科で選択していた苦手だった物理も、二次対策をするにつれおもしろさを感じられるようになりました。」

本当に勉強が面白くなるのはこれからである。自分に期待してがんばろう。

<大学・研究最前線>

反物質はどこに消えたのか?

宇宙には電子や陽子と全く同じ質量で電荷だけが異なる粒子があり、これらを我々の世界を構成する物質に対して反物質とよぶ。

宇宙が誕生したとき、莫大なエネルギーから物質と反物質がペアで誕生したと考えられているが、一方で物質と反物質は出会うと消滅してしまうため、なぜ現在の宇宙は物質だけで構成されているのかは明らかになっていない。その問を解き明かすため、ドイツの研究機関と共同で、理化学研究所原子物理特別研究ユニットのユニットリーダー山崎泰規らは、陽子と反物質の1つである反陽子について、世界最高の精度で電荷以外の違いを見つけ出す努力を続けており、これまでより6倍高い精度で磁氣的性質を表す磁気モーメントという量を測定することに成功した。しかし、これまでのところ、物質と反物質の差は見つかっていない。

反物質はどこに消えたのか? 謎は尽きない。

進路指導室便り（1 学年 1 月）

ひたむきな努力は人を感動させる

センター試験の3日前の1月11日（水）に52期生の大学入試センター試験激励会が行われました。



前日のダンス部による激励発表会に続き、当日は書道部・応援団部を中心に先輩たちにエールを送ったわけですが、君たちはどう感じたでしょうか？ 高校入試は県大会に、大学入試は全国大会に例えられます。年始にテレビ中継されていた高校生バレー、サッカー、ラグビー等の決勝戦を見て感動した人も多かったかもしれません。では、なぜ感動するのか？ おそらくは、そこに至るまでの選手たちの並々ならぬ努力を垣間見るからかもしれません。

受験も同じです。自分の夢や目標に向かって真摯に、そしてひたむきに頑張ることで自信がつかます。そして周囲も動きます。なんとかしてあげたいと協力の手を差し伸べます。そして、親の期待はもちろん、周囲の期待に応えようとさらに努力を積み重ねて、さらに高いレベルに到達していきます。

大きく差がつく2月・3月

2年生の0学期もスタートして早くも1ヶ月。2月以降、学年末考査期間も含めて、授業が実施されるのはわずか30日程度。高校入試期間も含め、なにかと休みの多い時期に入ります。残念なことに、国公立大学を目指す全国レベルの受験生と比較したとき、このわずか2ヶ月の間に、本校生徒の多くが成績を落とします。なぜか？ 高校2年がスタートするまでのわずか数ヶ月間ではありますが、学習や気持ちの持ち方に問題があるということです。1月に実施された進研模試。各県の上位数校は受験しないため、君たちの実際の学力よりも高い数値が出ます。そして、このままであればなんとか…的な勘違いを起こして、緊張感のない2ヶ月を過ごしてしまうことも要因の1つだと個人的には思っています。54期生の110名を超える生徒が全国の上位校が受験する学研ハイレベル模試を受験します。おそらく、大部分の人が自分の学力不足を思い知らされます。でも、そうした経験こそが今のこの時期の君たちに必要な部分だと思えます。大切なのは、今の自分に足りないものを認識して、どう補っていくかをしっかり自覚することです。

大きく変わる大学入試

話は変わりますが、大学入試に関する情報を提供します。現在の中学2年生が受験する入試から、大学入試が大きく変わることは知っているはず。そして、それに向けて様々な変革が進行中です。国公立大学の後期日程が廃止され、その分の人員を推薦入試・AO入試の定員に上乘せしていく動きもその1つです。そうすると何が起こるか？ 自分の進路を実現するために、学校の授業以外に、日頃からボランティア活動に参加したり、テーマを設定した課題学習等に自発的に取り組んでいる生徒は別として、前期日程試験と後期日程試験という従来は2回あった受験チャンスが前期日程試験のみの実質1校受験になるということです。確実に合格しようとする受験生は、本来の志望校のランクを下げて国公立大学合格を目指そうとする動きが出てきます。熊本の震災の影響もあるでしょうが、52期生の入試動向でも鹿児島大学の志願者が例年より大きく増加しています。従来であれば合格できていたはずの受験生がはじき出される可能性が高まるということです。この傾向はしばらく続くはず。

ぜひ、高い目標を設定してください。志を高く持って下さい。年頭所感に記した目標を実現するための努力を惜しまず、確実に積み上げていってください。君たちが本校で学ぶ意義を再確認してください。

自分に自信を持てる受験生になろう！

まだ実感はないのかもしれませんが、君たちもセンター試験に出題される4割の学習を終えようとしている受験生です。



ぜひ、自分自身が周囲が、クラスの友人、部活動の仲間、先生方が応援してくれるような受験生になってください。もし、自信が無ければ、どこに原因があるのか、今後どのように改めていくべきなのかしっかり考えて、自分自身と向き合って、早く行動に移して下さい。

4月に入学してくる後輩たちから、部活動だけでなく勉強の面でも、そして人間的にも慕われる54期生であって欲しいと切に望みます。

（文責 1学年主任 西中間）

<進路指導室便り> 2学年1月号

昔々、ある村にたいそう腕の立つ侍がいました。ただ、この侍は自分の腕前を過信しており、度々の横暴な立ち振る舞いで、村人達は大変困っておりました。

ある日、一人の年老いた油売りがその村にやって来ました。道端に座り、油の入った瓶を並べて油を売っているところに、その侍が通りかかりました。油売りのみすぼらしい身なりを一瞥して、小馬鹿にしたように刀を抜き、油売りの目の前で刀さばきを見せつけました。侍が得意げに刀を鞘に収めた時、油売りの口から「大したことはありませんね。」と一言が発せられました。周辺にいた村人達は青ざめ、その言葉を聞いて侍が激怒し、今にも油売りを手討ちにしようという勢いで刀に手を掛けた瞬間、油売りがゆっくりと懐から六文銭を取り出しました。

油売りは、柄杓ですくった油を糸のように細く垂らしながら、侍の目の前で六文銭の小さな穴を通して、1滴もこぼすこと無く、柄杓一杯の油を全て瓶に戻しました。まさに神業でした。その瞬間に侍は自分の思い上がりや未熟さを悟り、地面にひれ伏して非礼を詫びたということでした。その後、その侍は一層精進して劍豪と呼ばれるまでに成長しました・・・。

自分(=廣瀬)は高校時代、プロ野球・広島カープのファンで、「月刊カープファン」という雑誌を購読していました。高校3年生の2月、大学受験のために広島県へ向かう列車の中で何気なく目を通したこの文章は、「**広島カープの選手はプロだし、それを応援して支えるファンや広島県民も、一人一人が粉れもなく何かの仕事のプロである訳です・・・。**」と続いています。自分(=廣瀬)に「**仕事**」や「**プロ意識**」ということを教えてくれたものとして、数十年経った今でも、はっきりと記憶に残っています。

さて、昨年12月の国内体験学習は「**夢の国**」の出来事のような、遙か遠い昔のことに思えるから不思議です。国内体験学習の期間中、JTBの添乗員やホテルのスタッフの方々の仕事ぶりや、先輩の職場訪問での各企業の方々、おもてなし体験プログラムやディズニーランドのキャストの方々など、至る所で「**仕事**」や「**プロであること**」を学ぶ場面が多かったように思います。

1 健康管理

「職場」や「契約・交渉の席」、「お客様との約束の場」にいなければ、話になりません。

2 時間厳守

「納期・工期」や「契約・交渉の日時」、「お客様との約束」を厳守しなければ、信用は一瞬で失われます。

3 礼儀挨拶

「TPOの理解を欠いた行動」や「礼を失する態度」は、個人でなく所属先の信用を一瞬で失います。

4 コミュニケーション能力

同僚や顧客、取引先など、「様々な種類の人間」と「相互理解」ができなければ、仕事は成立しません。

5 判断力

「十分な準備」を怠ると「的確な判断」を誤り、「大事故」や「多額の損失」に繋がることとなります。

6 適応能力

「予測不能の事態」や「不慣れな環境」、「理解しがたい相手」と遭遇した時、どう対処するかです。

上記は正解かどうかは分かりませんが、「**仕事**」をする上で「**プロ**」として必要であると、自分(=廣瀬)なりに感じたことです。これは、皆さんが**学校生活や県大会、受験などに臨む際にも、重要である**と言えそうです。自分(=廣瀬)は、自分自身が「**プロの教師**」であるのか自問することがありますが、皆さんも本当に「**プロの鹿児島中央高校生**」と胸を張って言えるような生活を送っているのでしょうか・・・。

(文責・廣瀬)

【3 学年】

センター試験終了！→2次試験出願完了！

→ひたすら「努力」+「努力」の積み重ね…

→そして「合格」おめでとう！

とにかくセンター試験は終わった。思うように点数をとれた者、大失敗に頭を抱える者、何となくよくわからない状態である者、「一喜一憂しても仕方ない」とは言うものの、かける言葉に迷うところである。しかし、努力はウソをつかないものであって、君たちの丸1年にわたる努力は、必ずや見事に結実して「合格」の二文字を勝ち取ることに繋がるものと信じたい。あとは出願作業を終え、残り約一ヶ月余りを健康に気をつけながら「努力」を惜しみなく続けることだ。

「努力はウソをつかない」などといったが、これはだいたいにおいて無慈悲な勝者が、失敗した者の苦しい心情を無視して口にする捨てゼリフである場合が多い。実際は「努力がウソをつく」事例はいくらでもあって、間違った努力でもなく、努力の方向性も正しかったのに、それが喜ばしい結果につながらないことは珍しくはないものである。いや、長い人生を考えると、努力が求めた結果につながらないことのほうが遥かに多いのだ。「努力はウソをつかない」という格言は、努力しようとしないう者を叱咤激励するには有効であっても、だからといって努力がウソをついた時に「ダメされた」と天を仰ぎ、天を呪うのは、それはその人間が未熟な証拠ということなのである。要するに、努力の不在、怠惰の蓄積、その結果としてセンター試験の結果が思わしくなかったならば、反省は不可欠だということ。反省したならすぐに立ち上がって更なる努力を期待したい。一方、反省しているつもりで落胆に酔い、落胆は悲嘆に変質し、安易な悲嘆に陶醉するうちに、落胆も悲嘆も、やがて悪質な怠惰の肯定に変わる場合がある。



地道な努力の継続より「浪人」生活を早々と宣言し、夢のような計画表作成に時間を費やす…。残り1ヶ月を頑張れないような人間が、プラス12ヶ月を頑張りがきれるなんてあり得ない。反省と落胆を混同するのはもうヤメにして、すぐに目の前の2次試験に向かって最大限の努力をしてほしい。

「努力」に「努力」を積み重ねた先に、「合格」おめでとう！や「よくがんばったね」おめでとう！という祝福や賛辞は必ずついてくる。人によって

は前期試験ではなく、中期や後期試験まで「努力」を強いられる者もいよう。たとえそうであったとしても、「合格」おめでとう！を目指して「努力」を積み重ねてもらいたい。「努力」する君たち一人ひとりを最後まで応援したい。

がんばっても
うまくいかなくて嫌な時もあるけど
がんばったら
うまくいってうれしい時もある。

ちょっとしたことで
無理とか言ったら
うまくいくわけねーなって思った

だから、とりあえず、あきらめない。